

町村の部第11位! 第5回愛知駅伝

愛知駅伝実行委員会主催による愛知万博メモリアル第5回愛知県市町村対抗駅伝競走大会が、12月4日(土)に愛・地球博記念公園において開催され、「大治町チーム」も参加し、町村の部で第11位となりました。

参加チームは、市37、町村20、インターナショナル1の計58チームの参加がありました。

タイム

1時間48分39秒

区間・距離

9区間 29.7km

監督

多湖 由美子

コーチ

江口 直子

選手の皆様

大谷 真未 祖父江 美佳
林 辰也 森部 大斗
古井 勝利 福岡 葉澄
奥村 めぐ 酒井 光太
牧野 圭佑 川口 匡亮
伊藤 圭介 藤巻 康子
吉田 久江 朝日 彩加
橘しおり 川口 諭
林 好信

(敬称略・順不同)



今月の記念日

1月17日は

「おむすびの日」

平成7年7月17日に発生した阪神・淡路大震災では、被災者の多くが、ボランティアによる炊き出しに助けられました。そこで活躍したのが「おむすび」です。

お米を通じて食と農業のあり方を考え、ごはんを中心とした健康的な食生活をもっと広めていこうという「ごはんを食べよう国民運動」。運動を進めている「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」では、大震災での経験を引きつらに、飽食の暮らしを問い直し、いつまでも食料、とりわけお米の重要性や、ボランティアの善意を忘れないようにと、毎年1月17日を「おむすびの日」と決めました。「ごはんのおむすび」だけでなく、人と人との心を結ぶ「おむすび」の意味も込められています。

同協議会実施のアンケートによると、1週間で食べたおむすびの数は3.7個。性別

では男性が3.9個で女性の3.5個よりも多く、年代別では食べざかりの10代が4.2個で最多でした。

地方別では、1位が中国地方の40個で、最も少ないのは北海道と甲信越地方で3.3個でした。都道府県別では、1位が沖縄県の42個で、2位は岡山県、広島県、愛媛県、宮崎県の41個。おむすびの消費量は、ここ数年、西高東低の傾向が続いています。

ちなみに呼び方は、全国的には「おにぎり」が約89%でしたが、中国地方では4分の1以上の人が「おむすび」と呼んでおり、特に広島県(38%)、山口県(36%)で高いことが分かりました。

男性の場合、市販のおむすびの割合が手作りおむすびの割合を常に上回っています。コンビニエンスストアなどの店頭にはいろいろな種類のおむすびが並んでいます。たまには、ご飯を手にとり、その温かさ、やわらかさを感じながら、おむすびをにぎってみてはいかがでしょうか。